

2009

7/5(日)

開演 15:00 (開場 14:00)

春日井市民会館

入場料 1,000(税)円 [全自由席]

入場券:5月25日(月)より 文化フォーラム春日井文化情報プラザ、清水屋案内所、サンマルシェインフォメーションで販売

### Program

ロッシーニ/「ブルスキーノ氏」序曲  
ドヴォルザーク/チェロ協奏曲口短調  
ブラームス/交響曲第2番ニ長調

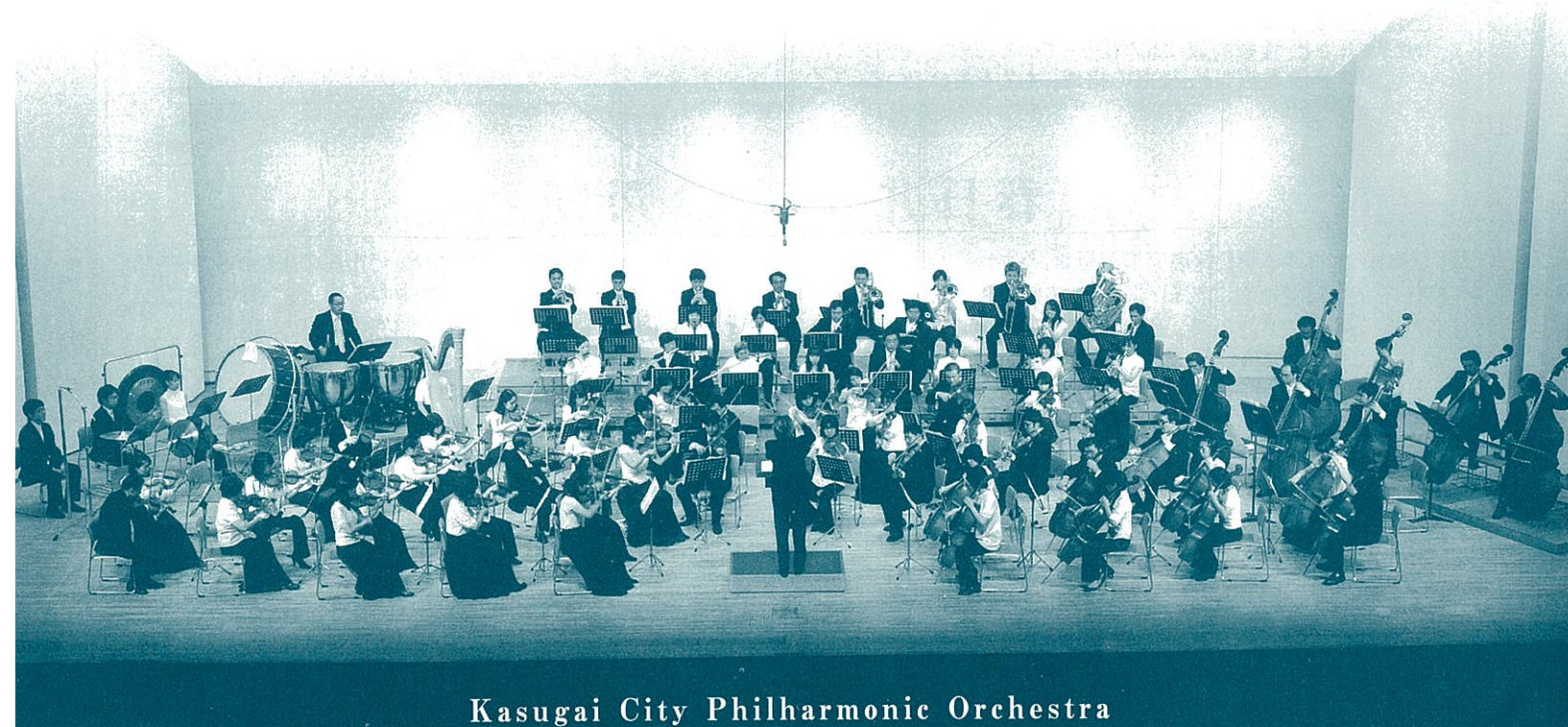
### 問い合わせ

春日井市交響楽団事務局  
中部大学 渉外部内  
(0568)51-1111(代)

主催:春日井市交響楽団  
後援:愛知県教育委員会、春日井市、  
春日井市教育委員会、(財)かすがい市民文化財団、  
中日新聞社

第18回

# 春日井市交響楽団 定期演奏会



# Kasugai City Philharmonic Orchestra



〔チェロ独奏〕

林 峰 男  
*Mineo Hayashi*

Cello

1946年東京生まれ、幼少よりチェロを才能教育で学ぶ。桐朋学園で斎藤秀雄氏に師事。その後ジュネーブ音楽院で学び第1位で卒業。スイス・ローザンヌ室内管弦楽団のソリストとしてデビューを飾った。

1975年、ベオグラード国際チェロ・コンクールに優勝。1976年にはワシントンDCとニューヨークのカーネギーホールでリサイタルを開き、アメリカでのデビューを果たしたが、ニューヨーク・タイムズ紙はその演奏を絶賛した。1977年スペインで開催された「カザルス生誕100年コンサート」に招待され、日本を代表するチェロ奏者の地位をえた。1976年以来、スイス・ロマン管弦楽団、ザグレブ・フィルなど数々のオーケストラと共演する一方、スイスを本拠地としながら、室内楽、リサイタルなど数多くの演奏会を世界各地で開いている。日本へは毎年定期的に帰国し、全国各地で積極的に演奏活動を行っている。オーケストラとの共演も新日本フィル、東京フィル、東京交響楽団、大阪フィル、ロイヤルメトロポリタン管弦楽団など十指に余る。

1985年にはバッハ生誕300年を記念して『無伴奏チェロ組曲全6曲』を一夜で演奏するという画期的な企画で、全国17ヶ所・日本縦断コンサートを行い脚光を浴びる。1995年には東京・カザルスホールで『デビュー20周年4日連続演奏会』を開催。ピアノの故園田高弘氏との共演をはじめ、連日ホールを満席にした。デビュー30周年の2005年には、没後30年のショスタコーヴィッチの作品に精力的に取り組み、加藤知子(Vn)伊藤恵(Pf)とのトリオ・リサイタルが、NHKテレビで放映されるなど今後ますますの活躍が期待される。また、栃木県大谷石窟洞内で、月光を受けながら行った二夜連続の演奏会や下呂の地芝居の殿堂「鳳凰座」、京都寂光寺、東京・増上寺(開創600年記念)の本堂でのリサイタルなど、独創的取り組みも行っている。現在、国際スズキメソッド音楽院教授など、後進の指導にも力を注いでいる。スイス・ローザンヌ在住。



〔指揮〕

濱 津 清 仁  
*Kiyoto Hamatsu*

Conductor

2004年ウィーン楽友協会黄金ホールにて、オーストリア・ウィーン放送交響楽団を指揮し、鮮烈な楽壇デビューを飾った新進気鋭の指揮者。幼少よりピアノ・ヴァイオリンを学び東京音楽大学ピアノ科に入学するも、後に指揮科に転科し1997年同大学を卒業。在学中より、オペラ・声楽付き作品への才能を示す。その後、渡欧し、ウィーン国立音楽大学指揮科に入学する。在学中より頭角を現し、主任教授レオポルド・ハーガーの許、管弦楽・オペラなど広範に亘るレパートリーを吸収し、ウィーン国立音楽大学主催公演に、ウィーン・プロ・アルテ管を指揮する。学内だけに留まらず、ルーマニア国立オラデアフィルの定期演奏会、ハンガリー・セゲド管、Orchestra Haydn di Bolzano, Ensemble Zandonai Orchestra da Camera di Trento(イタリア)、Ensemble de l'Orchestra de Cadaques(スペイン)を指揮するなど活発な活動を展開し、特に自ら主宰したウィーンにおける「SAKURA」室内管弦楽団との活動も特筆される。ヨーロッパでの正統的な指揮教育を受けた濱津が紡ぎ出す音楽は、奇を衒わない解釈と清冽な響きに満たされ聴衆からの熱い支持を受けている。国内での活動にも取り組み、札幌交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団などに登場した。

東京音楽大学指揮科、ウィーン国立音楽大学院指揮科をそれぞれ卒業。これまでに、レオポルド・ハーガー、エルヴィン・アツェル、湯浅勇治、小澤征爾、秋山和慶、汐澤安彦、広上淳一に師事。

## 春日井市交響楽団

市民オーケである春日井市交響楽団は、ベートーヴェンの「第九交響曲」の演奏会を春日井市で開きたいという市民の思いから生まれました。それを受けて、「市民が演奏し・市民が聴く、春日井市民のオーケストラ」として、市内の音楽愛好家を中心に、1990年(平成2年)11月に創立されました。愛称「カポ」(KAPO)は英字名称「KASUGAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA」の頭文字をとったもので、イタリア語の「カポ」(capo 頭・先頭に立つ者)の思いもあります。毎年、7月の定期演奏会と12月の「春日井市民第九演奏会」を中心に、数多くのオーケストラ活動を行っています。団員は、会社員・公務員・教員・医師・主婦・学生・自営業者などからなる60名。私たちにとって最大の喜びは、一人でも多くのみなさまに演奏会においていただき、音楽を聴く喜びとともにクラシック音楽が好きになっていただくことです。そのために、「春日井で名曲の名演奏を」と心がけています。また、「春日井の開かれた音楽の窓」となつて国の内外の最高の音楽家との共演にも努めています。これからも、さらに、市民のみなさまに親しまれ、愛されるカポとして、市民音楽活動をつづけて参ります。温かいご支援をお願いいたします。